

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山校		
○保護者評価実施期間	2025年10月20日 ～ 2025年12月29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2025年10月14日 ～ 2025年11月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	いろいろな指導員と関われるように担当制ではなく、指導員全員でお子様と関われるようにしているところ。	お子様がいろいろな指導員と関わるができるため、事業所全体でサポートをしています。また、療育内容や困ったときなどにアドバイスもらいやすく、指導員の負担軽減にもなっております。	いろいろな研修への参加や近隣のグループ校舎などと交流を図ることで知識などのアップグレードを行っています。
2	個別支援による個々へのオーダーメイドの計画を立て、その子にあった療育の実施を行っております。	日ごろから指導員同士でお子様たちの情報を共有していき、出来そうなことや強化していきたいことなどを話し合っています。	研修や事例検討などで得た知識や情報を取り込んでいき、指導員や児発管のレベルアップを図っています。
3	月に1度の小集団療育の実施。	月に1度小集団療育を行うことでいつもとは違った時間帯のお子様たちと関われるようにしていき、	小集団療育の内容にも飽きることがないように食育、運動、工作など様々な物を実施していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎がないことで、療育を受けたくても通所が難しいところ。	送迎がないことでこちらでのご利用をためらう方や利用を見送る方、やむを得ず欠席される方が見受けられます。	送迎がない分、ひとつ一つの支援を大切にしていき、より良い療育を実施していきます。また、都度それらの改善も行っていきます。
2	校舎の空間の狭さ。	大きな運動や遊びを行う際に狭く感じてしまうことがあります。	可能な限り空間を広くするため、ホワイトボードや机などの用品をどけて活動できるように工夫をしています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 47名

回収数 22

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	0	0	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	2	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	2	0	1	先生によるのかなと思います。	職員ごとに理解が至っていない、専門性のある支援が出来ていないことがないように対応していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	2	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	2	0	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	4	9		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	5	3	6		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	0	1	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	7	2	8		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1	1	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1	1	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	2	職員室で先生方が他の利用者生徒さんについて話をしている内容が、部屋の外に聞こえていたことがあったそうです。	利用者様について話す際は周囲や声量により気を付けて話しをしていくようにします。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	0	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	8		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	4	0	0	・遊びたい気持ち強い時がある。 ・子どもが楽しみに通っています。	・メリハリをつけた活動を促していき、子どもたちの意見にも寄り添った活動をしています。 ・楽しみに通ってくださり、ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山校				公表日	2026 年 2 月 14 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		パーティションでの区切り方を考えながら一人ひとりスペースを適切に使えるように工夫しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		どの時間帯においても、利用者様と職員がマンツーマンで支援できる環境を整えております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		玄関前に段差はありますが、身体的なハンディキャップを持つ利用者様がご利用されとなった時には、スロープの設置等を検討予定です。事業所内については段差はなく、支援スペースと職員室の大きく2フロアに分けています。	今後、必要があれば、玄関にステップを用意します。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		子どもたちの活動に合わせた空間となっております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別になるように、パーティションで変えています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		年に2回事業所と個人の目標設定を行っています。その目標に対して毎月振り返りを行い、個人での目標を持って取り組んでいます。職員間でも目標や振り返りを共有し、事業所全体でも取り組んでいます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の皆様から頂いたご意見を真摯に受け止め、事業所内での共有を行いながら事業所運営の向上や業務改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングを実施し、業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価はありませんが、内部監査をしています。	必要があれば、第三者により外部評価も考えていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修を受講する機会が多くあり、社内でも研修を開催する機会が確保されています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ケース会議や職員会議などを通して、互いに意見を出し合い、プログラム立案を行っております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		⑩同上		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画のもと、保護者様とも相談しながら必要な支援を提供しております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		毎月、個別支援計画を作成後、担当指導員のみでなく、職員全員が計画を把握できるように朝終礼時に共有する時間を設けています。その計画に沿って、支援プログラムを組んでいます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		年に1度アセスメントを実施しています。職員間で利用者様の様子や、日々の変化等も共有し、保護者の方との振り返りや家族支援を実施する中で、お子様も成長し、お父さんやお母さん		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」は、5領域の視点から支援項目を設定しています。 「家族支援」「移行支援」は、日頃のお子様やご家族様の状況を把握することや、困り感を共有して頂く中で様々な視点から分析し、関係機関と共有できるように努めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムの立案をチームで行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		支援の状況や、お子様の状態等、日ごろから職員間で話しあったり、引継ぎを行う中で情報の共有に努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		月に1度集団活動をしております。個別療育の後、必要に応じて他児と関わる時間を設けています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼・夕礼を行い、利用者様情報や支援の役割分担など、必要な時には適宜、ミーティングを行っております。就業時間外となってしまう時には、翌日の朝礼で確認をしております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		朝礼・夕礼を行い、利用者様情報や支援の役割分担など、必要な時には適宜、ミーティングを行っております。就業時間外となってしまう時には、翌日の朝礼で確認をしております。	就業時間外にならないように、朝礼で確認しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎年、社内で監査をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		利用者様の選択肢の一つとして事業所を紹介していただいたり、連携がとりやすい環境を整えております。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者並びに担当支援員が参加もしくは情報共有しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要があれば、主治医と連携を取っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		情報共有は必要に応じて行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて情報提供をしながら関係機関連携を図り、相互理解が深まる体制を整えています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		情報提供が必要であれば行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		センターとの連携を行うことができておりません。	今後、必要であれば行っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		兄弟がきらり広場に参加できるようにしております。	放課後児童クラブや児童館との交流が必要であれば、取り組んでいます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育後にフィードバックを行っています。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	療育の内容によっては、保護者様同伴で支援に参加していただき、お子様との関わり方や声掛けの方法、ご家庭での在り方などアドバイスさせていただいております。また事業所内相談支援などの家族支援を通して上記の支援を行っております。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		丁寧な説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		家族支援で話をする機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		説明を行い、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて、家族支援、家庭連携などを行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	現状、父母の会は実施できておりませんが、当事業所以外の関係機関の斡旋を行っております。兄弟は、きょうだい広場で参加していただけるようにしております。	希望があれば、実施していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		営業時間帯はいつでも対応できるようにしております。また校舎入口に苦情窓口を掲示しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログ、X（旧Twitter）を更新しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きのロッカーを使用し、個人情報の保護に努めております。また社内研修を行うことで、職員の意識向上を図っております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個に応じた対応を行っております。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	いつでも見学ができるようにしております。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは事業所入口に置き、常時閲覧可能にしております。毎月防災訓練を1回以上実施しております。また年間でスクエールを組み、利用者様と一緒に訓練を実施することもございます。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月防災訓練を1回以上実施しております。また年間でスケジュールを組み、利用者様と一緒に訓練を実施することもございます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	契約時に確認をして、対応しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成して、支援をしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ヒヤリハットや事故などは必ず保護者に報告して話し合いながら、ヒヤリにつながった原因を考え、保護者や職員間で共有しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けて取り組んでおります。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年外部の研修を受講しております。さらに社内でも独自の研修を行っております。	

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束について重要事項説明書や運営規定、個別支援計画にも明記させていただいております。	
--	----	--	---	--	--	--